

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第45週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第45週分 11月8日～11月14日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 4,794例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

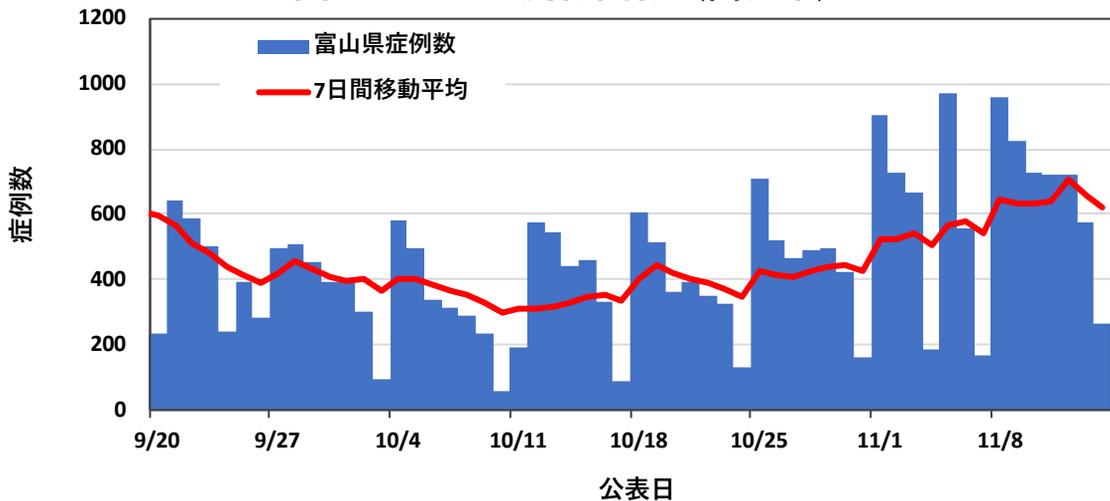


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、45週）

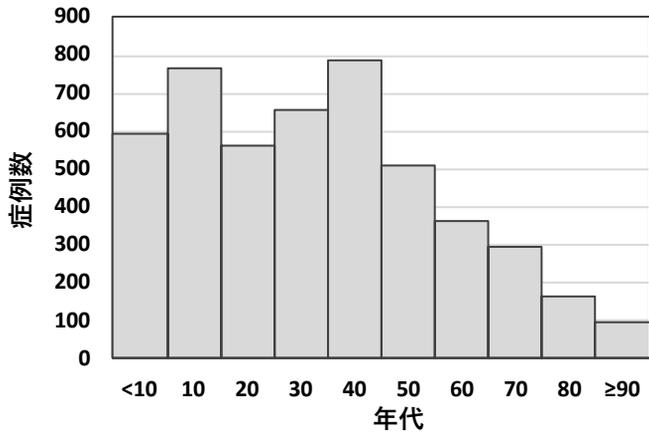


図4. COVID-19年代別割合（富山県、45週）

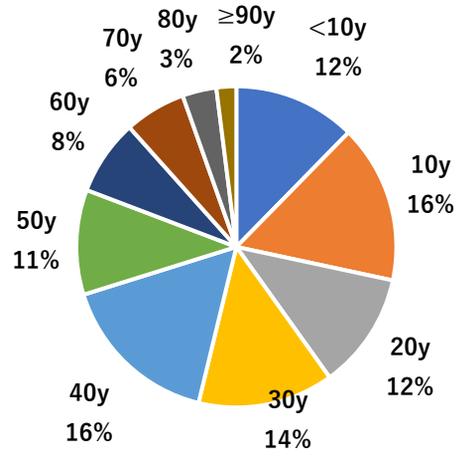


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

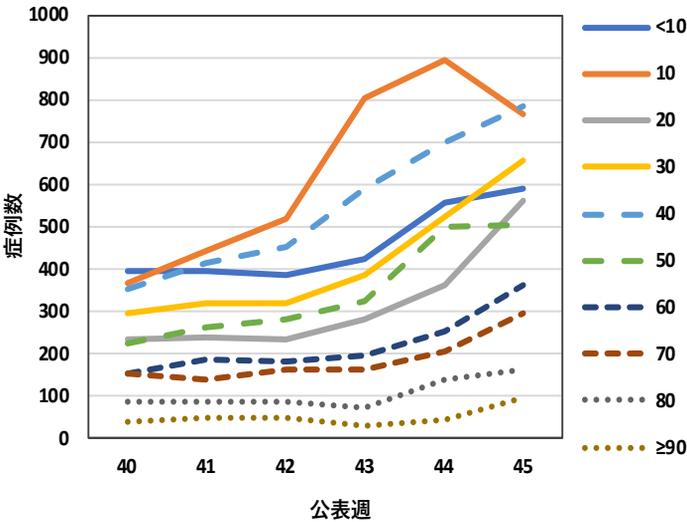
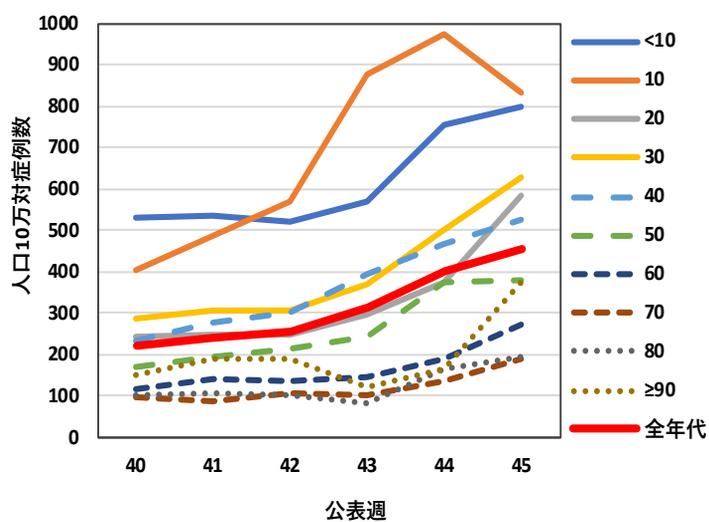


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



11月14日時点での所見と評価

- 第45週の新規報告数は、4,794例。10月中旬以降増加傾向が続いている。
- 実効再生産数（図2）は、今週 1.03~1.10。11/14時点で1.04。
- 第45週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。先週同様、10歳代と40歳代が最も多く16%を占めた。次いで30歳代、10歳未満、20歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は19%を占めた。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。10歳代がやや減少したが、40歳代をはじめ全ての年代で増加傾向が継続している。